第三種郵便物認可（日曜・祝日の翌日休刊）　沼津朝日　2019年（令和1年）5月3日（金曜日）　第19823号　（日刊）

昭和から平成、令和へ
移り変わる時代を追う

昭和 街頭紙芝居芸人の三ツ沢グッチさんが委員長を務める実行委員会と、新仲見世商店街の共催で「昭和レトロ祭り」が「昭和の日」の4月29日、新仲見世商店街で開かれた。

三ツ沢さんが「昭和の雰囲気が残る商店街」として新仲見世商店街を会場に企画するイベントで、今年で3回目。

空き店舗に昭和モダンギャラリーを開き、昭和を感じさせる日曜雑貨や、おもちゃを展示。ベーゴマ、スマートボール、フラフープなどで遊ぶ「昭和の遊び体験」、あげパン、味噌おでん、日の丸弁当などを販売する「昭和の飲食」コーナーが商店街に並んだ。

昭和の遊び体験には多くの子ども達が参加して懐かしのおもちゃで遊んだ＝新仲見世商店街で

テレビのイマイ前の特設ステージでは、大道芸のバナナの叩き売り、昭和歌謡を歌うミュージシャンが登場し、昭和歌謡のど自慢大会には12人が出場。松任谷由実の「ルージュの伝言」を歌った高校2年の稲葉愛笑さんが優勝し、「初めて出たけれど楽しかった」と喜んだ。

また、審査員を務めたシンガーソングライターの富田伊知郎さんは、1970年代から80年代にかけてスーパー戦隊シリーズの主題歌を担当しており、舞台で『バトルフィーバーJ』の主題歌を披露して観客を沸かせた。

また、16ミリ映写機による昭和アニメの上映会や昭和お宝自慢大会、昭和ファッションショーなども開かれ、平成の終わりを前に昭和を懐かしんだ。

◇

平成 ラブライバー限定DDR（ダンスダンスレボリューション）大会in沼津「おや踏みなさん！」の3回目が4月28日、Bivi沼津3階のゲームセンター、サードプラネット特設会場で開かれ、全国から集まったプレーヤーが熱戦を展開した。

DDRは、ゲームメーカーのコナミ（現・コナミアミューズメント）が開発したゲームセンター向けの音楽ゲーム。音楽と画面上の指示に従って足元に配置された上下左右のボタンを足で踏み、その正確さによる得点を競う。

平成10年にゲームセンターに登場すると、激しい運動量やプレーヤーの足さばきとパフォーマンスが話題となり、平成時代の社会現象の一つに挙げられるほどの人気を呼んだ。現在もシリーズが継続している。

大会を企画したのは神奈川県川崎市の会社員石渡文裕さん(37)。石渡さんはDDRのインターネットランキングで全国トップとなり、コナミから正式に初代「足神」の称号を贈られ、ファンの間では知られた存在。

石渡さんは東京都でDDR大会を企画することもあったが、聖地巡礼で沼津を訪れるようになり、「ラブライバーを対象に沼津でDDR大会を開いたらどうなるのか」と考え、「参加者が数人でも開いてみよう」と、SNSで参加者を募ったところ、募集開始から一日で募集枠が埋まり、昨年7月に16人が参加して第1回大会を開催。11月に2回目を開き、観客を含めて50人以上が集まった。

今回は、募集開始から1分半で募集枠の24人が埋まり、観客も含めて約70人＝写真。市内をはじめ、群馬県や大阪府などからも訪れた。ラブライバーが対象だが、沼津は初めてだと言って大会に合わせ、聖地巡礼の日程を組んだ人もいた。

大会は3部門を設けて1対1で得点を競い、予選を勝ち抜いたトッププレーヤー4人で総当たり戦も行われた。

石渡さんは「ラブライブと何かをかけ合わせることで人の輪が広がり、沼津を盛り上げるきっかけにもなると思う。得点を競うスコアアタック部門としては全国でも平成最後の大会になった。次回は7月14日に開き、100人は入れる会場を用意したい」と話す。

◇

令和 第35回沼津こいのぼりフェスティバルが5日まで、永代橋からあゆみ橋までの狩野川緑地（左岸河川敷）で開かれ、370匹余のこいのぼりが群遊。あす4日と5日には親子で楽しむイベントが開催される。

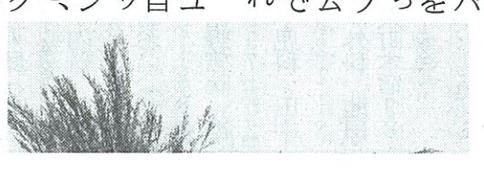
2日には、大諏訪の販促企画会社オフィスグルー（窪野岳社長）が新元号「令和」をデザインした「令和こいのぼり」を掲揚。同社では、アジのひらきをイメージした「ひものぼり」など6年前から変わり種こいのぼりを制作して同フェスタに提供しており、今回で19匹目。

令和こいのぼりを掲揚する窪野社長親子＝狩野川左岸河川敷で

きょうから2日間、春の盆栽展
樋ノ口の川口盆栽園で

春の盆栽展が、きょう3日と、あす4日の2日間、下香貫樋ノ口の川口盆栽園（国道414号バイパスを東に入ったアイフルホーム西隣）で開かれる。

クロユリ（黒百合）やハッカクレン（八角蓮）、ミズトク



エイリアン姿のテヅルモヅル
深海から奇異な姿を現す

○…海釣りを楽しむ友人が「何か分かるかね」と、スマートフォンで撮影した画像を見せてくれた。大瀬岬とアンか、絡み合って廃棄された漁具にしか見えなかった。

○…インターネットで「水深150㍍付近に生息」「エダサンゴかヒトデに似た生物」などと入力して検索すると、スマホの画像によく似たクモヒトデ科テヅルモヅル（手蔓藻蔓）と出合った。ウニやナマコ、ヒトデを含む棘皮（きょくひ）動物のような生物。

○…夜行性のテヅルモヅルの多くは、蔓のような腕をサンゴなどに巻き付けて暮らす。昼間は岩の隙間の奥深くに潜り込んでいて、夜になると腕を使い海底を這うという。

○…テヅルモヅルは浅海のサンゴ礁でも見られるが、多くの種類は水深500㍍以上の深海に生息。底引き網に掛かると取り外すのに手間が掛かるため、漁師に嫌われる。友人は「深海水族館へ持ち込めばよかった」と残念がった。

○…甲板に上がったその生物の形状と動きを不気味に感じた友人は、仕掛けから外して撮影すると素早く海に放したという。画面の生物は大きさが径30㌢程で、四方八方に伸ばした複数の腕をゆっくり動かしている。とて

ねこやの
◎おしるこ
◎あんみつ

茶 新茶まつり
創業明治五年
水口園
本店
沼津市町方町68
TEL962-2102

木材は地球を守るたからもの
株式会社 横山製材所
沼津市新沢田町5番37号

沼津朝日
沼津朝日新聞社
〒410-0888 沼津市末広町34
TEL962-4840㈹ FAX962-4590
URL numaasa.com
1ヵ月 730円・1部 40円

焼とりトマト 末広町 ☎九六四―四六四六